


事業番号	03 03 02	<b>事業改善シート（令和3年度実施事業分）</b> ■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検			
事業名	コンプライアンスの推進	部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課
		実施期間	H27 ～	E-mail	comp-gvosei@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標					
総合的に展開する重点政策					

## 1 現状と課題

目指す姿 これまでの取組	<b>【目指す姿】</b> ・法令に基づく業務執行を基本としつつ、単なる法令遵守という受け身の姿勢に留まらず、社会の環境変化に敏感に対応し、必要ならばルール自体の見直しに柔軟に取り組むことにより、県民や社会からの要請に的確に応えることができる組織 ・①「県民起点」の意識改革、②風通しのよい対話にあふれた組織づくり、③しごと改革（しごとの質と生産性の向上）の一体的な取組により、県民の信頼と期待に応えることができる組織 <b>【これまでの取組】</b> ・各種研修、所属内での職員面談や不適切事案の共有等を通じたコンプライアンス意識の徹底と組織の風土改革 ・内部統制の円滑な運用等による適正な事務処理のための体制の構築				
	令和2年度 点検結果 現状分析	<table border="1"> <thead> <tr> <th>課 題</th> <th>今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>           ・職員一人ひとりがコンプライアンスを「自分ごと」として捉え、リスク管理の意識を継続的に持って業務遂行するよう、各所属内での職員意識の一層の浸透が必要。             ・R2.4.1施行の内部統制制度を円滑に運用し、不適正な事務処理をなくすため、管理監督者以外の職員への制度の理解の一層の浸透が必要。         </td> <td>           ・計画的・継続的な所属長等への研修の実施及びコンプライアンス推進月間を通じた所属単位での各種取組により、職員全体への一層の意識の浸透を図る。             ・新たに配置した内部統制推進員により制度に対する職員の理解を深めるとともに、手引を適宜見直して適切な執行を図る。         </td> </tr> </tbody> </table>	課 題	今後の方向性	・職員一人ひとりがコンプライアンスを「自分ごと」として捉え、リスク管理の意識を継続的に持って業務遂行するよう、各所属内での職員意識の一層の浸透が必要。  ・R2.4.1施行の内部統制制度を円滑に運用し、不適正な事務処理をなくすため、管理監督者以外の職員への制度の理解の一層の浸透が必要。
課 題	今後の方向性				
・職員一人ひとりがコンプライアンスを「自分ごと」として捉え、リスク管理の意識を継続的に持って業務遂行するよう、各所属内での職員意識の一層の浸透が必要。  ・R2.4.1施行の内部統制制度を円滑に運用し、不適正な事務処理をなくすため、管理監督者以外の職員への制度の理解の一層の浸透が必要。	・計画的・継続的な所属長等への研修の実施及びコンプライアンス推進月間を通じた所属単位での各種取組により、職員全体への一層の意識の浸透を図る。  ・新たに配置した内部統制推進員により制度に対する職員の理解を深めるとともに、手引を適宜見直して適切な執行を図る。				

## 2 令和3年度事業内容

予算のポイント・主な取組(予定)	<ul style="list-style-type: none"> <li>✓ <b>職員研修の充実</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・所属長を対象としたグループワーク型の研修を導入</li> <li>・新任課長、本庁係長を対象としたコンプライアンス研修を実施</li> </ul> </li> <li>✓ <b>各所属における風通しのよい職場環境づくりの取組</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンプライアンス推進月間において全所属で上司と職員との面談を実施</li> <li>・各所属で改訂ハラスメントパンフレット等を活用した所属内研修等を実施</li> </ul> </li> <li>✓ <b>内部統制制度の実施体制の充実と確実な運用</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全所属による内部統制制度の確実な運用と定着</li> <li>・内部統制評価報告書の策定と議会への提出</li> </ul> </li> </ul>	 <p>グループワーク研修 (イメージ)</p>
------------------	---	---

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						区分(単位:千円)					
No	成果指標	H30年度	R1年度	R2年度末(見込)	R3年度目標値	事業 コスト	R1年度	R2年度	R3年度		
1	所属長研修への参加者数	189人	178人	↓	208人		↑	0	0	要求 予算案	4,094 —
2	上記研修アンケートでの「理解できた」職員の割合	85.6%	84.0%	↓	91.2%	↑	4,620	3,068	要求 予算案	4,094 —	
3									要求 予算案	4,087 —	
4							4,613	3,062	要求 予算案	—	
5							3,769				
							職員数(人)	4.0	3.5		3.5

成果指標 設定理由	1 社会環境が変化している中、コンプライアンスの推進のためには、管理監督者が本県の目指すコンプライアンスについて十分理解することが必要であることから、対象者250名の8割を目標値として設定。 2 研修への参加だけでなく、理解・習熟が重要であることから、過去の理解度を参考に目標値を設定。
--------------	--

事業番号	03 03 02	事業改善シート（令和3年度実施事業分）			■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	コンプライアンスの推進		部局	総務部	課・室	コンプライアンス・行政経営課		

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
1	職員の意識改革	4,620	3,068	要求 4,094 予算案 —
		細事業1～3の合計：千円	細事業1～3の合計：千円	細事業1～3の合計：千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	コンプライアンス推進本部会議の開催	直接	全部局長で構成する推進本部会議でのコンプライアンス推進参与による指導・助言 【推進本部会議4回】	
2	職員研修の実施	直接	管理監督者等に対するコンプライアンス研修を実施 【所属長7回、新任課長1回、本庁係長1回】	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
2	組織の風土改革	—	—	要求 — 予算案 —
		千円	千円	千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	コンプライアンス推進月間の実施	直接	全ての所属において、一定の期間内に1か月間を設定し、上司と部下との個別面談や所属内意見交換等の取組を集中的に実施	
2	ハラスメント防止対策の拡充	直接	相談専用電話や職員相談員による個別対応の実施、防止パンフレットや事例集を活用した所属内研修の実施	

細事業 No.	細事業名	R 1年度 当初予算	R 2年度 当初予算	R 3年度 当初予算
3	適正な事務処理のための仕組みづくり	—	—	要求 — 予算案 —
		千円	千円	千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(予定)	
1	内部統制制度の着実な実施	直接	実施初年度（R 1年度）分の評価及び議会への報告並びに当該年度分の運用	